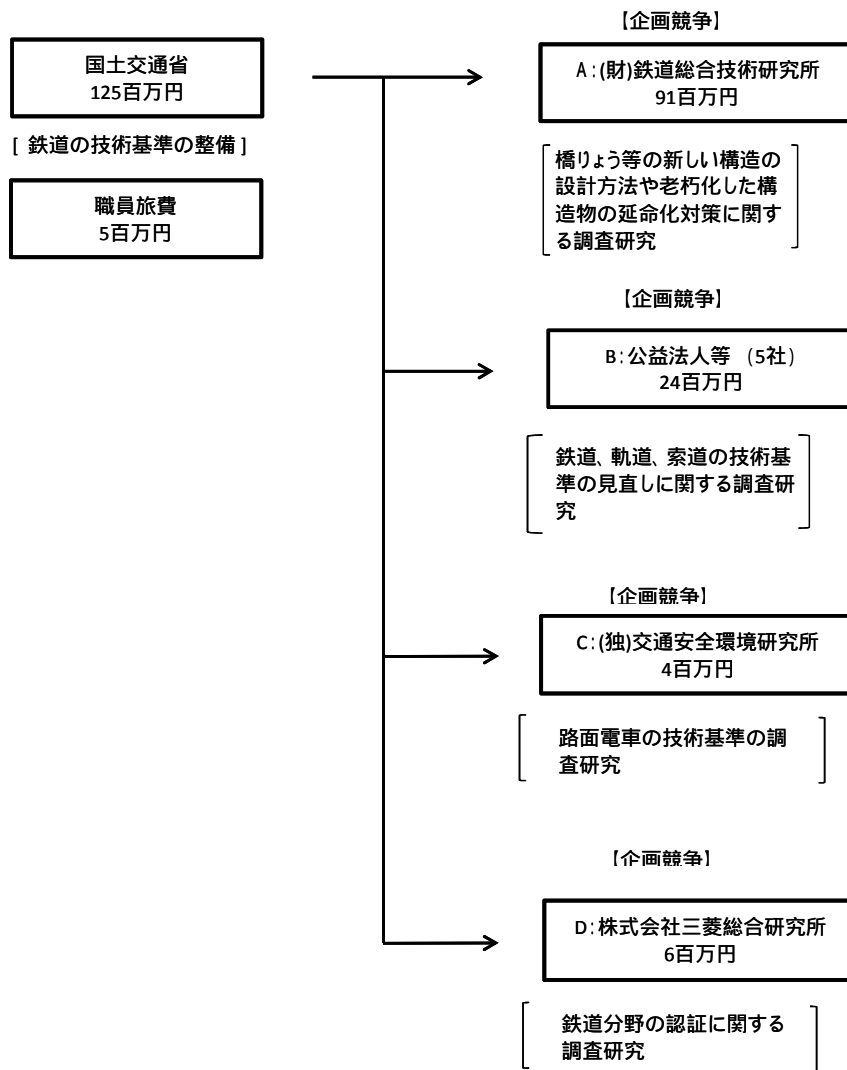


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	鉄道技術基準等	担当部局	鉄道局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	鉄道局	担当課室	技術企画課	課長 北村 不二夫			
会計区分	一般会計	施策名	公共交通の安全確保・鉄道の安全性向上、ハイジャック・航空機テロ防止を推進する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	鉄道に関する技術上の基準を定める省令	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)	鉄道の技術基準について、技術レベルの向上や事故・災害等を踏まえた最新の知見をもとに調査研究を行い、技術基準を見直し、更なる鉄軌道における輸送の安全の確保を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	鉄道のトンネル、橋りょう、電気設備等の鉄道施設、車両や列車の運転について、最新の知見を踏まえた調査研究を実施し、技術基準の原案を作成。 主な調査研究内容として、 橋りょう等の新しい構造の設計方法や老朽化した構造物の延命化対策に関する調査研究 列車走行時における安全性確保のための車両挙動の分析、列車無線設備のあり方、省エネルギー化のための余剰電力の活用設備に関する調査研究 鉄道、軌道、索道の技術基準の見直しに関する調査研究 海外の鉄道の技術基準、鉄道関係の国際規格に関する調査研究等を実施。						
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	186	163	149	141	147
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	186	163	149	141	147
	執行額	128	142	130			
執行率(%)	69%	87%	87%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	鉄道運転事故による乗客の死亡者数	成果実績		0	0	0	0
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	調査件数等	活動実績(当初見込み)	件数	9	18	14	()
						(14)	()
単位当たりコスト	9.3(百万円/調査件数)	算出根拠	単位当たりコスト = 実績額/個所数 H22実績額 = 130百万円 H22個所数 = 14件				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	鉄道技術基準整備のための調査研究	130	136	本年は、5月にJR北海道石勝線において列車脱線火災事故が発生した、このため車両の燃焼実験など事故に関する調査(30百万)を急遽行う必要が生じたため、その分要求が増額となった。			
	鉄道施設保安対策費	11	11				
計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業については、鉄道の安全を確保するために必要な技術基準作成のために必要なものとして、適正に実施されており、引き続き事業の進捗状況の把握等に努めることにより、効率的な予算の執行を図ることとしている。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 チーム所見を踏まえ、調査事項について、優先度を精査して見直しを図った。 さらに、より多くの業者に応募してもらえるよう公示期間及び提案書の提出期限の延長を図った。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		土木構造物に係る他の研究成果の活用等を図ることにより、本事業については、鉄道に関わる研究に特化・限定すべき。安全性の確保、国際的な基準との調和等に資する技術基準の策定、普及に役立っているか、不断の見直しを行い、調査の内容、発注方法も不断の見直しをすべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>チーム所見を踏まえ、調査内容について、優先度および内容を精査して見直しを図った。(-24百万円) ところが本年は、5月にJR北海道石勝線において列車脱線火災事故が発生した、このため車両の燃焼実験など事故に関する調査(30百万)を急遽行う必要が生じたため、その分要求が増額となった。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(財)鉄道総合技術研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	鋼とコンクリートの複合構造物の設計に関する調査研究	21			
計		21	計		0
B.(社)日本鉄道施設協会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	鉄道及び軌道の技術基準の運用状況等に関する調査	5			
計		5	計		0
C.(独)交通安全環境研究所			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	路面電車の速度向上に関する調査研究	4			
計		4	計		0
D.株式会社三菱総合研究所			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	鉄道部品に関する国際規格に反映される国際標準化活動に関する検討調	6			
計		6	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)鉄道総合技術研究所	鋼とコンクリートの複合構造物の設計に関する調査研究	21	企画競争	-
2	(財)鉄道総合技術研究所	車両の総合的な安全性向上に係る基準のあり方に関する調査研究	19	企画競争	-
3	(財)鉄道総合技術研究所	老朽化した既設構造物の延命化等に関する調査研究	17	企画競争	-
4	(財)鉄道総合技術研究所	鉄道橋りょう設計に関する調査研究	15	企画競争	-
5	(財)鉄道総合技術研究所	鉄道の国際規格に関する調査	11	企画競争	-
6	(財)鉄道総合技術研究所	鉄道分野の電力貯蔵設備に関する調査研究	9	企画競争	-

B.

1	(社)日本鉄道施設協会	鉄道及び軌道の技術基準の運用状況等に関する調査	5	企画競争	-
2	(社)日本鉄道電気技術協会	鉄道及び軌道の技術基準の運用状況等に関する調査	5	企画競争	-
3	(社)日本鉄道車両機械技術協会	鉄道及び軌道の技術基準の運用状況等に関する調査	5	企画競争	-
4	(社)日本鉄道運転協会	鉄道及び軌道の技術基準の運用状況等に関する調査	3	企画競争	-
5	(社)日本鉄道電気技術協会	次世代の鉄道に必要な無線システムのあり方に関する調査研究	3	企画競争	-
6	(財)日本鋼索交通協会	索道の技術基準の運用状況等に関する調査	3	企画競争	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)交通安全環境研究所	路面電車の速度向上に関する調査研究	4	企画競争	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	鉄道部品に関する国際規格に反映される国際標準化活動に関する検討調査	6	企画競争	-